

## 臨床研究に関するお知らせ

宮崎市郡医師会病院 1 病棟では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 研究課題名：1 病棟における眠り SCAN<sup>®</sup>使用の有用性について

#### 1. 研究の概要

1 病棟は、患者、家族の気持ちや思いに寄り添い、できるだけその人らしい生活が送れることを大切にしています。そして患者と家族が自然の流れの中で大切な時間を過ごしてもらうためにモニターなどの機材はおいていません。患者さまの状態を見ながらお部屋に入る時間や看護をさせていただいていました。しかし、これまでの看護を行う中であまり部屋に入ってほしくない、自分のことは自分で行いたい、睡眠をさまたげられたくないなどから定期的なお部屋の訪室はしてほしくないと訴える患者さまがおられました。

転倒や転落を防ぐために訪室を行っていますが夜間の訪室と訪室の合間で転倒されていたり、看取り期にある患者の家族への連絡がもう少し早くにできていればより良い家族さまへのケアができたのではないかを思うことがありました。

そのような時にマットの下に敷くだけで体動、脈拍、呼吸を検出し、睡眠状態を判定するシート型体振計である眠り SCAN<sup>®</sup>を 2023 年 8 月から導入することになりました。

眠り SCAN<sup>®</sup>は、主に現在介護施設の業務負担軽減の目的で導入されていることが多いものですが 1 病棟への導入においては業務負担軽減だけでなく、看取り期にある患者の状態把握に役立ち、覚醒状況を見て訪室することで転倒防止になる、睡眠状態や覚醒状況を見ることで訪室の時間を変更し、患者に合わせた訪室ができることにつながり、緩和ケアの看護の質の向上になることを目的として導入しました。

先行文献での緩和ケア病棟での眠り SCAN<sup>®</sup>使用についての文献は鎮静剤を使用したときの効果などの限局した調査はあるものの、看護の視点からの眠り SCAN<sup>®</sup>使用による有用性についての研究はありませんでした。

そこで、現在眠り SCAN<sup>®</sup>導入後 1 年が経過したため、今までのデータを分析し、1 病棟で実際に眠り SCAN<sup>®</sup>を使用した結果をカテゴリー分類別で検証を行い、使用前後での変化をデータ化し調査分析することで、緩和ケアの臨床における眠り SCAN<sup>®</sup>の有用性を明らかにしたいと思い本研究に取り組んでいます。

#### ●当院の実施体制

##### 【主任研究者】

大野 駒美

##### 【分担研究者】

長野 理恵

猪俣 美穂子

今栖 絵梨香

## 2. 目的

本研究は、1 病棟において眠り SCAN<sup>®</sup>を使用した結果を検証し、緩和ケアの臨床における有用性を明らかにする事を目的としています。

なお、この研究は、眠り SCAN<sup>®</sup>に関する新しい知識を得ることを目的とします。

## 3. 研究実施予定期間

この研究は、研究機関の長の許可後から 2025 年 9 月まで行われます。

## 4. 対象者

宮崎市郡医師会病院 1 病棟に 2023 年 9 月 1 日～2024 年 9 月 30 日に入院し、眠り SCAN<sup>®</sup>を使用した方が対象となります。

## 5. 方法

対象となる方のカルテ情報から、患者情報（年代、転倒の有無、カンファレンス内容）、看護経過記録、眠り SCAN<sup>®</sup>のデータを集め、調査、検討し緩和ケアの臨床における眠り SCAN<sup>®</sup>の有用性を明らかにします。

## 6. 費用負担

この研究を行うにあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

## 7. 利益および不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

## 8. 個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に特定できないように、数字や記号などに置き換えて使用いたします。

## 9. 研究に関する情報開示について

ご希望があれば、研究対象者の希望により、研究計画及び研究方法についての資料を閲覧することができます。ご希望がある場合は、下記連絡先へ遠慮無く申し出て下さい。ただし、他の研究対象者などの個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で情報開示を行います。

## 10. 研究資金および利益相反について

この研究に関する経費は、実施責任者が所属する診療科の研究費で賄われます。

なお、本研究の研究担当者は、本研究に関連する企業および団体等からの経済的な利益の提供は受けていないため、申告すべき利益相反<sup>注1)</sup>はありません。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益（謝金、研究費、株式、医薬品・医療機器、検査・解析サービス等）の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

## 11. 研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

作成日  
2024年10月23日 第1版作成

## 12. 参加拒否したい場合の連絡先

この研究に参加したくない（自分のデータを使ってほしくない）方は下記連絡先へ遠慮無く申し出てください。しかしながら、データ解析後、もしくは学会等で発表後は途中辞退することができない場合もあります。

## 13. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願いいたします。

宮崎市郡医師会病院 1 病棟

氏名：大野 駒美、長野 理恵、猪俣 美穂子、今栖 絵梨香

電話：0985-77-9101

FAX：0985-77-9121